

第6回経塚公園連絡協議会（準備活動）開催結果について

1. 日時 2023年9月11日（月）19：00～21：10
2. 場所 浦添市役所9階講堂
3. 参加者等 会場参加：16名
浦添市、UR都市機構 沖縄まちづくり支援事務所
ファシリテータ：株式会社新産業文化創出研究所 廣常 啓一

第6回経塚公園利活用連絡会を9月11日に開催しました。初参加の方も含めて、16名の皆様が参加されました。

連絡会は、地域ニーズにあった公園の利活用促進、そのための主体者育成、仲間づくりやネットワークづくりを目的として開催しています。経塚公園は順次整備を行っており、今年の3月には（民間事業者が公園の整備や便益施設建設による賑わい等創出を行う）Park PFIの設置等予定者が決定しました。来年～再来年（予定）にかけてはいよいよ公園内にカフェ等もオープン予定となっており、ますます地域の交流の拠点としての役割への期待も高まっています。

第6回連絡会では、設置等予定者となった事業者による便益施設のコンセプト説明のほか、浦添市からは大きなイベントに加え、単独や気軽に行えるイベントなどの開催も期待している旨が説明されました。また連絡会がイベント開催にだけ焦点を当てた議論に偏りがちであるが、是非連絡会に参加する方々の関係性構築、同じ目的作り、公園ルール作りなどにも目を向けた上で、イベントや活動団体作りなどを行っていただきたいという、連絡会の趣旨の確認も行われました。

当日は、6つのテーマ（「健康系」「防災系」「フリマ系」「JICA系」「こども系」「まずは自分たちが楽しんでみる」）で意見交換をしました。また、それらのテーマのLINEグループを作り、連絡会終了後にも継続的な意見交換できるような環境を作りました。

※LINEグループは今年度に終了するものですが、要望に応じて継続の可能もあります。

※公園利活用連絡会に参加されていない方も、6つのテーマによる公園利活用に関心のある方は、ご登録いただくことが可能です。



1. あいさつ

浦添市美らまち推進課 課長 徳永 徹氏

・本市では、沖縄都市モノレール周辺のまちづくりとして、平成30年よりパークマネジメントの推進に向け、市民や事業者と連携し、経塚公園を核としたまちづくりを進めている。

・昨年、カフェ等の公園施設整備を行う Park PFI 設置等予定者も決定した。

・経塚公園の柔軟で有効な利活用を図るために本会を開催しているが、気軽な意見交換、情報交換の場としていただきたい。

・今後も主体的な活動者を増え、公園を核としたまちづくりに発展することを期待している。



2. 経塚公園の整備・利活用について

浦添市美らまち推進課 係長 神里悦子氏

◇経塚公園の方向性について

・平成30年度から令和2年度にかけて、市民や事業者等との意見交換を通して、令和3年7月に経塚公園まちづくり計画を策定し、経塚公園の方向性を「地域の健康づくり及び市民の健康増進に資するヘルシーパーク」と決定した。



◇整備スケジュール

市発注
令和6年度以降順次
整備予定

Park-PFIにて整備

- ・ P-PFI事業者との基本協定（令和5年度予定）
- ・ 事業者による施設整備(R6年度～)



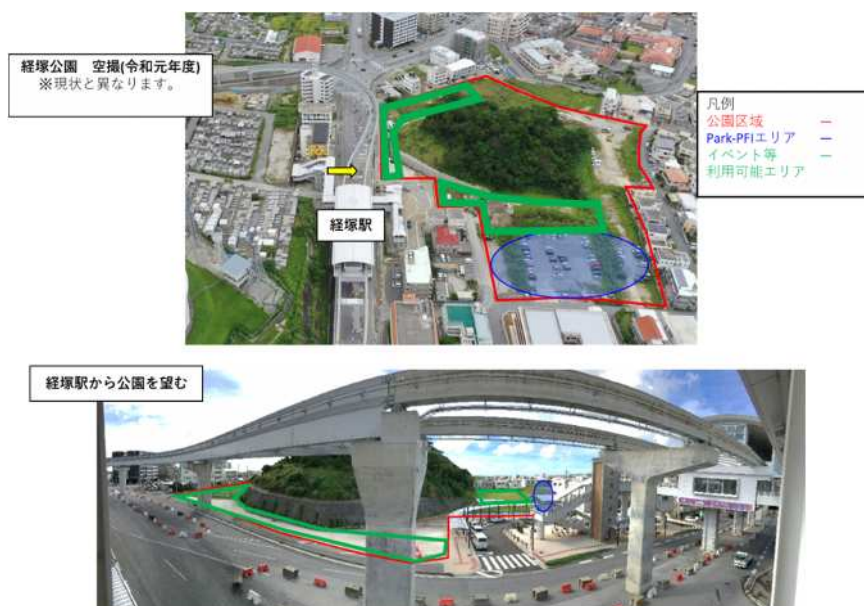
R5.2撮影



◇公園利活用連絡会について

- ・令和3年より市民協働部会は公園利活用連絡会へと形を変え、公園を利活用したい方々がどなたでも参加可能な意見交換の場となった。
- ・公園利活用連絡会は、公園を使いたい方が自由に活動提案を行い、仲間の募集や活動の連携、地域の皆さんとの共創を推進する場である。地域の課題や悩みごとなども発表し、公園を活用した解決の活動アイデアや協力者を募ることもできる。
- ・(連絡会を円滑に進めるためのルール説明)
- ・公園利活用においては、各種申請、対応は主催者が行っていただきたい。
- ・公園を楽しく使っていくための「イベントガイドブック」を作っており、参考にさせていただきたい。
- ・近隣へのイベント事前周知や各種配慮、感染症対策などもお願いしたい。

◇イベントの開催場所



- ・赤のライン：経塚公園の範囲
- ・緑のライン：イベント可能範囲

◇パーク PFI について

- ・パーク PFI とは、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象施設の設置、及び当該施設から乗じる収益を活用した、来園者が利用できる周辺の沿路や広場等特定公園施設の整備を一体的に行う民間事業者を公募する制度である。
- ・昨年度のパーク PFI 事業者の公募によって、医療法人社団オレンジが認定設置等予定者に選定された。

◇今後のスケジュール

	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月
①公園利活用 連絡会	第6回 11(月)開催	第7回 13(金)開催		第8回 7(木)開催		
②おとし イベント	(候補) 23(土) 24(日)	(候補) 14(土) 15(日) 21(土) 22(日)	9月、10月は候補日の中から各1日開催します。 11月～1月(2月)までは主催者のご希望で決定します。			
③社会実験 イベント			25(土)開催	年に2回予定しています。 1回目は11月25日に開催します。 2回目は主催者のご希望で決定します。		

3. なぜ今、公園まちづくりが必要かについて

株式会社新産業文化創出研究所 所長 廣常啓一

・全国の公園と取り巻く状況は、公園の使い方へのクレームが多く、公園で禁止看板が増えている。

・自治体では、地方財政の課題に対して公園整備や維持管理における公民連携（民間事業者との連携）を推進している。また市民協働の推進も行っており、市民と共に地域課題解決や幅広いニーズへの対応、あるいは公園協議会を作って公園ルール（現在は禁止事項に上げられている BBQ や手持ち花火などを地域とともに考えていくなど。）を作るなどが行われるようになってきている。

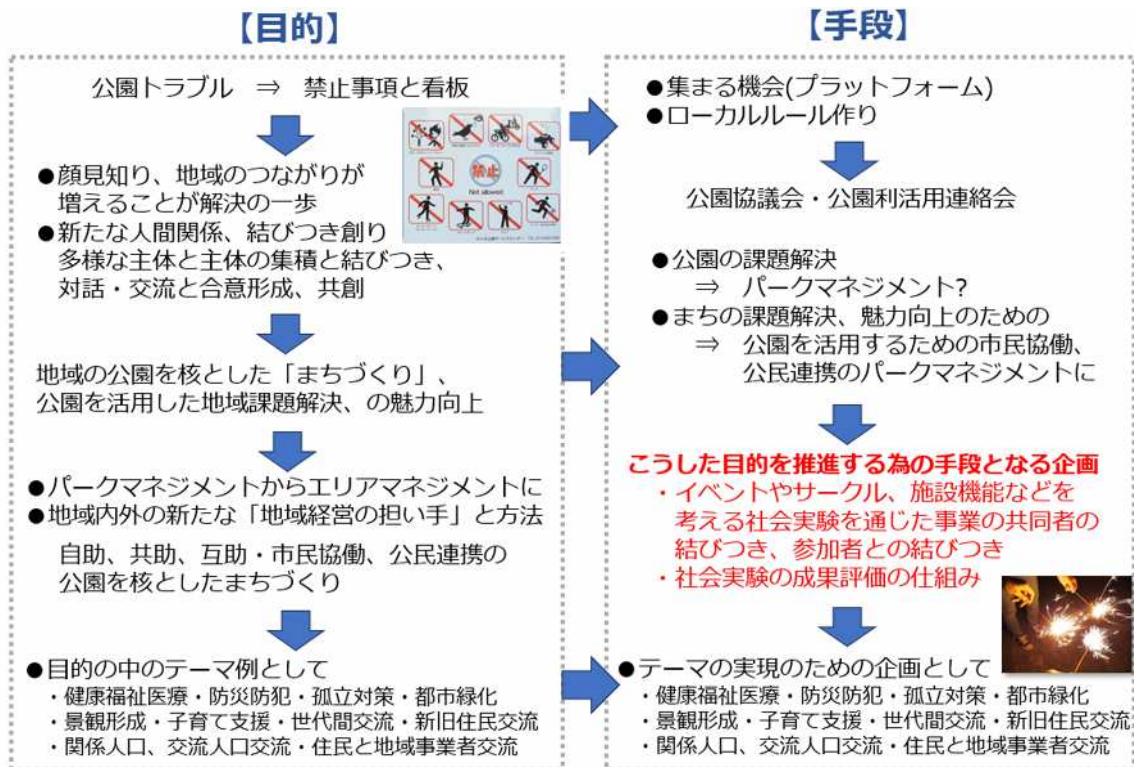
・浦添市においては、公民連携、市民協働を通して、パークマネジメントの推進、それを核としたエリアマネジメントへの拡大を目指しており、公園を核とした新たなまちづくりの対話、交流、共創の機会を作っている。

・コミュニティ形成の場が少なくなり、多様な地域住民の交流が求められる中、公園活用の地域主体（地域住民ばかりでなく、事業者、夜間人口や関係人口を含む）の交流の機会を作り、共に地域課題解決をしていくことが、公園利活用連絡会の趣旨である。





- ・ 禁止事項が増え、地域ニーズにあった公園の上手な活用ができなくなっている中、対話や交流を通して地域のつながりを作り、公園を活用した地域課題解決や魅力向上を図ることが連絡会の目的であり、イベントなどはその一つの手段としてとらえていただきたい。
- ・ 地域で解決したい内容テーマとしては健康福祉医療、防災防犯など様々あるが、このような目的、テーマを実現するための手段としてイベントやサークル活動などを考える機会として欲しい。



4. テーマごとの社会実験イベント等の意見交換

以下のテーマごとに、社会実験イベントなどに関する意見交換を行った。

(1) 健康系

- ・一つの切り口として「認知症」が考えられる。
- ・認知キャラバン、認知症カフェなど
- ・認知症による資産凍結などが問題視されており、相続などに関する士業の相談会
- ・自治会では、公民会で高齢者相談体操等を実施している。
- ・認知症体験、認知症本人の活動促進支援

(2) 防災系

- ・地域事業者や自治会などを避難場所として仮設定した避難訓練
- ・炊き出し（防災食）
- ・キッチンカーなどの防災食の可能性
- ・食中毒、食品衛生などの講義
- ・公園でのスライドベンチ等での練習等

(3) フリマ系

- ・終活のためのフリマ、メルカリ教室（メルカリを活用した販売の仕方）など
- ・自治会では、残ったものを売るフリマなど
- ・キッズフリマ
- ・SDGs フリマとして、外国人向けぶつぶつ交換

(4) JICA と連携

- ・11月25日はJICA イベント：国際交流、国際協力のお祭り。経塚公園においては、駐車場やお酒（国際的なお酒）を飲める空間など希望。
- ・経塚公園で海外と日本の両方を紹介できるイベントができればよい（11月25日は難しい）

(5) こども系

- ・親子で運動など、既に手が挙がっている。

(6) その他

- ・「ヘルシー」をキーワードに（指定管理者など）
- ・沖縄の魚パネル、まちかどに小さな本棚企画
- ・手持ち花火
- ・ピクニック

5. テーマごとの LINE グループ

6つのテーマの LINE グループで、継続的に意見交換を行うことになった。



以上